

綾町立綾中学校 生徒会への感想

〔生徒の皆様へ〕

- 写真や動画を用いており、視覚的にもとても分かりやすい発表でした。行っている活動やその活動がSDGsのどのテーマに関連しているのか理解することができました。綾中学校や綾中学校のある宮崎県の特徴について詳しく知ることができました。
- 挨拶活動を実施することで生徒の主体性を持つことができるということで、地域とのかかわりを持つことにつながると感じた。気軽に挨拶ができる環境を作ることで、あいさつのしやすさや生徒同士の新たなつながりを作ることができると思った。ペットボトルキャップの回収を通して地域の企業や他の学校とのかかわりができていることがすごいと思いました。地域の自然環境を守るためのボランティア活動に積極的に参加していて、自然環境の問題を自分事として考えられるようになってきているのだと思いました。
- 非常に発表が上手です！！スライドも見やすく感心しました。あいさつ運動の取り組みは私が中学生のとき行っていたのですが、やっぱり挨拶してくれる人としてくれない人とで分かりますよね。挨拶活動で地域の方とのつながりが出来たらいいなと思いました。服プロジェクトが特に印象的でした。委員会活動の内容は地域や日本、世界のことに目を向ける機会になります。これからも活動頑張ってください。
- あいさつ運動に関しては私も中学校の時に近隣の小学校にまで行って活動していたため、懐かしく感じた。生徒会の活動から地域とのつながりを強くしていることがわかり、災害時にはそのつながりから協力し合うことができるのではないかと感じた。実際に自分たちで森に行き調査を行うなどして、様々な企業との連携がとれており、レベルが高いと思った。
- ユネスコスクールとして地域の土地を使って持続可能な社会を作っていくにはどうすればいいのかということについて科学的な根拠なども交えながら探究していることがすごいと感じました。また挨拶を通して街の活性化に取り組むということは気軽にできることでもあるので良い活動だと思いました。もし出来たら町中などに挨拶活動をしているということを周知できればさらにこの挨拶の効果を得ることができるのではないかと感じました。
- 中学校が、全部綾町から伐採した木を使ってできているのには驚きました。あいさつ運動から、地域とのつながりや中学校の活性化につながられていて良いと思いました。ペットボトルの回収で6万くらい集まったのには驚いた。また、イオン環境財団と連携して森について調べたり、ユニクロの服のチカラプロジェクトにも参加し、古着を約1500枚集め、国境を越えた世界の難民に服を寄付したりしていて、規模が大きくてすごいと思いました。行動力がすごいと思いました。
- 多くのSDGsを意識した実践活動をしていて素晴らしいと思いました。一つ一つの活動が中途半端ではなく、深められていて、興味深かったです。なかでも「ついDAY」のペットボトルキャップ回収で、回収量の数値化による参加の意識向上などの工夫が考えられていて良かったです。生徒会中心でこのような活動を進められることに驚きました。今後も頑張ってください。
- もともとあった活動をそのまま続けるだけでなく、改善をしていくことで、生徒の活動に対する意識が

高まるので良いと思いました。様々な活動を通して、地域や世界に貢献しようという気持ちで取り組んでいてすごいと思いました。

- 聞き取りやすい速度で発表が進められていたと思う。地域の様々な機関や組織とつながり、協力しながら、森林の保護活動やペットボトルキャップの回収に取り組んでいる点が、とても素晴らしいと感じた。また、学校の中だけでなく、地域社会や世界の貧しい人たちのために活動している点も素晴らしいと思った。
- 綾中学校の特徴と今年一年の生徒会の活動内容について、よく知ることができました。生徒たちの先頭に立って、さまざまなプロジェクトを行なっていてすごいと感じました。特に、企業やボランティア団体と協力して行なっていたのが印象的です。
- 生徒会の皆さんが「Action」をテーマに取り組まれてきたことや、活動にかけてきた熱い思いが画面越しにもこちらに伝わってきました。挨拶運動やペットボトルキャップの回収、森の健康診断、照葉樹林プロジェクトや服のチカラプロジェクトなど、非常に多岐にわたる活動に取り組まれていることに驚きましたし、ひとつひとつの活動に皆さんが主体的に取り組んでいることに感動しました！
- ペットボトルのフタのリサイクルや服のリユースなど、SDGsの達成に関係する基本的な考え方の1つである3Rを実行している点が興味深いと感じた。また、それら2つは地域の枠を超えた助け合いの活動であり身近なものを用いる活動であるため、今後ほかの中学校や小学校などでの再現性も高いと考えられ、ぜひ私も行ってみたいと思う。
- 今年度の「Action」というスローガン、これまでの経過を踏まえ、これからやっていきたいことへと繋ぐ思いがぎゅっと濃縮されている素晴らしいものだと感じました。幼保小中で一貫したふるさとキャリア教育の取組み、イオンの森での植樹活動、ユニクロ服のカプロジェクト...どれも長期にわたっての取組みで、地域との関わりから国境を越えた関わり、未来へと繋ぐ幅広い取組みに皆さんが主体的に関わっている様子が伝わり、感動しました。これからの活動の様子も知りたいと思いました。

〔教職員の皆様へ〕

- 「Action」という生徒会テーマが素敵です。行動に移すこと、一人一人が主体であることをとても大事にしているのだと思いました。「あいさつ運動」の復活について、全校で議論をしたことが良いですね。コロナで休止している活動がたくさんあります。だからこそ、その活動の目的や意味をみんなで考えることが大事なのだと思います。みんなで考えて出した結論だからこそ、主体的にあいさつ運動が行われているのだと思います。きっとコロナ前のあいさつ運動と、現在行われている「あいさつ運動」は違うのだろうなと思いました。総合的な学習の時間や、整備委員会の取組みも素敵だなと思います。ペットボトルの回収量や二酸化炭素量、古着回収量などを数値化したことで、活動の成果を実感し、主体性をもって行動に移していくことができたのだと思います。学校だけでなく、企業と協力しているところが、本物の社会を変えることになっているのだと思いました。